

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【公開番号】特開2007-269023(P2007-269023A)  
 【公開日】平成19年10月18日 (2007.10.18)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-040  
 【出願番号】特願2007-84489(P2007-84489)  
 【国際特許分類】

**B 2 9 D 30/00 (2006.01)**

**B 6 0 C 19/00 (2006.01)**

【F I】

B 2 9 D 30/00

B 6 0 C 19/00 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年3月29日 (2010.3.29)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

パッチを取付けるためのタイヤ処理装置であって、  
 タイヤを受ける支持面を有するテーブルと、  
 上記支持面から延び、上記支持面に対してほぼ直角な平面内で選択的に回転し、取付け  
 端を規定するツールポストと、

上記ツールポストの取付け端に相補的に連結され、上記テーブルの支持面に対してほぼ  
 直角な軸線回りを選択的に回転可能なシャフトと、

上記シャフトに連結され、タイヤまで延び、上記シャフトと一緒に回転するツールと、

上記テーブルの支持面から延びる第 1 のストッパー及び第 2 のストッパーとを備え、該  
 第 1 のストッパーと第 2 のストッパーは、上記シャフトおよび上記ツールの上記テーブル  
 の支持面に対して略直角な軸線に沿った回転を制限するように位置決めされている、タイ  
 ヤ処理装置。

【請求項 2】

上記第 1 と第 2 のストッパーの間の距離が選択的に調節可能である請求項 1 に記載の装  
 置。

【請求項 3】

さらに、上記ツールポストと機械的に連通し、上記ツールの相対位置を表示するゲー  
 ジを有する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

上記ツールが、タイヤの内側表面から材料を除去するための砥石車を有する請求項 1 に  
 記載の装置。

【請求項 5】

さらに、上記ツールに連結され、上記ツールの操作で生じた粒状物質を除去するよう  
 になったパキュムを備える請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

タイヤを支持面に載せるのを容易にするために、上記テーブルの支持面は、上記テー  
 ブルに対して傾け可能である、請求項 1 に記載の処理装置。

**【請求項 7】**

上記テーブルは、上記テーブルの支持面にタイヤを載せる前にタイヤを転がすための一対のローラを有する請求項 6 に記載の装置。

**【請求項 8】**

パッチを取付けるためのタイヤ内側表面の処理装置であって、  
フレームと、

上記フレームに連結され、略水平方向位置と傾斜位置との間で選択的に回転する、タイヤを支持するための支持面と、

上記支持面に対して略直角な平面内で選択的に回転する、上記支持面から突出したツールポストと、

上記ポストによって支持されたツールとを備え、

このツールは、上記支持面とほぼ直角な平面内での上記ツールポストの選択的な回転が、タイヤの内面に対する上記ツールの径方向位置を変えるようにタイヤ内まで延びており、さらにタイヤの週報光に沿ってツールポスト回りを回転するようになっており、

さらに、上記支持面から突出する、一対のツールストッパーを備え、このツールストッパーは、上記ツールのタイヤの内側表面に対する周方向の動作を制限するように、上記支持面に沿って位置決めされる、タイヤ内側表面の処理装置。

**【請求項 9】**

上記一対のツールストッパーはレール上に取り付けられており、このレールは上記ツールがタイヤの周方向に沿って回転できる量を制限するように、上記一対のツールストッパーの間隔を調節するのを可能にする複数の孔を規定する請求項 8 に記載の装置。

**【請求項 10】**

さらに、上記ツールストッパーの少なくとも一方に配置され、上記ツールを保持するヨークを備える請求項 9 に記載の装置。

**【請求項 11】**

タイヤの内側表面に沿った上記ツールの相対位置を表示するための、上記ツールポストと一緒に形成されるゲージをさらに備える請求項 8 に記載の装置。

**【請求項 12】**

上記支持面が上記ゲージを見ることができる開口部を規定している請求項 11 に記載の装置。

**【請求項 13】**

さらに、上記フレームに取り付けられた 2 つのローラを備え、これらローラは、タイヤの内側表面が上記支持表面に沿って正しく位置決めされるようにタイヤを回転させるように位置決めされている請求項 8 に記載の装置。

**【請求項 14】**

半径方向と周方向の両方を規定するタイヤにパッチを取付けるためのタイヤの処理装置であって、

タイヤを受ける支持テーブルと、

上記支持テーブルから延び、第 1 端を有するマストとを備え、このマストは、マストが上記支持テーブルに垂直な面内で選択的に回転可能となるように上記支持テーブルに回動可能に取り付けられ、且つ第 1 端がタイヤの半径方向に沿って選択的に移動可能となっており、

さらに、上記マストの第 1 端に沿って着脱自在に支持され、タイヤの周方向に沿って上記マストを中心として回転するツールを備える、タイヤの処理装置。

**【請求項 15】**

さらに、上記マストに連結され、タイヤの半径方向に沿ったタイヤに対する上記ツールの相対位置を視覚的に表示する測定装置を備える請求項 14 に記載の装置。

**【請求項 16】**

第 1 端と第 2 端とを有するシャフトをさらに備え、上記シャフトの上記第 1 端が上記ツールに連結され、

上記マストは、上記マストの第一端に開口部を規定し、該開口部は、上記シャフトの第2端を受けるようになっている、請求項14に記載の装置。

【請求項17】

上記ツールは、砥石車からなる、請求項14に記載の装置。

【請求項18】

さらに、上記ツールと一緒に形成され、上記砥石車の操作によって生じた粒状物質を除去するためのバキュームを備える、請求項17に記載の装置。

【請求項19】

上記支持テーブルは、上記支持テーブル上にタイヤを正しく位置決めできるようにタイヤを配置して転がすことができる少なくとも2つのローラを有する請求項14に記載の装置。

【請求項20】

さらに、上記支持テーブル上に選択的に位置決め可能な第1と第2のツールストッパーを備える請求項14に記載の装置。